令和４年１０月２７日

２０２２年世界選手権大会以降のパリオリンピック参加枠獲得大会の選手選考追記について

公益社団法人日本ウエイトリフティング協会

標記について、令和４年６月３日付けの本協会通知時点では下記対象大会の期日が決定しておりませんでした。よって、時期が確定したため１０月２２日の選手強化委員会で再度審議（＿＿部分）いたしましたので通知いたします。

記

１　対象大会　・２０２３年５月アジア選手権大会　　（開催国：韓国　5/3-5/13）
・２０２３年５月ＩＷＦグランプリ大会　Ⅰ　（開催国：キューバ共和国）
上記、２大会の選手選考を審議いたします。

２　対象階級　男子　１０階級
55kg 級、61kg 級、67kg 級、73kg 級、81kg 級、89kg 級、96kg 級、102kg 級、109kg 級、+109kg 級
女子　１０階級
45kg 級、49kg 級、55kg 級、59kg 級、64kg 級、71kg 級、76kg 級、81kg 級
87kg 級、+87kg 級

３　選考大会　〇令和３年７月から令和４年１２月末までの次の大会
（対象記録）　・令和３年　７月　東京オリンピック大会
・令和３年１１月　全日本選手権大会
・令和３年１１月、１２月全日本大学対抗選手権大会（男子２部、１部、女子）
・令和３年１２月　世界選手権大会
・令和４年　４月　全日本選手権大会
・令和４年１０月　国民体育大会
・令和４年１０月　アジア選手権大会　　以上　終了

今後の大会
①令和４年１１月　全日本社会人選手権大会・全日本女子選抜選手権大会
②令和４年１１月、１２月全日本大学対抗選手権大会（男子２部、１部、女子）
③令和４年１２月　世界選手権大会

４　選考基準　２０２２世界選手権大会の選手選考時と同基準になります。
パリオリンピック実施５階級の２０２１年世界ランキングより８位相当記録（以後基準記録と称す）と下限記録（基準記録より－２５kg）を設定しました。基準記録との記録差で選考します。なお、対象記録は先に出した選手が優先になります。

		基準記録	下限記録
男子	61kg 級（55kg 級と 61kg 級）	・・・288kg	263kg
	73kg 級（67kg 級と 73kg 級）	・・・338kg	313kg
	89kg 級（81kg 級と 89kg 級）	・・・371kg	346kg

	102kg 級（96kg 級と 102kg 級）	・・・390kg	365kg
	+102kg 級（109kg 級と+109kg 級）	・・・425kg	400kg
女子	49kg 級（45kg 級と 49kg 級）	・・・183kg	158kg
	59kg 級（55kg 級と 59kg 級）	・・・217kg	192kg
	71kg 級（64kg 級と 71kg 級）	・・・232kg	207kg
	81kg 級（76kg 級と 81kg 級）	・・・244kg	219kg
	+81kg 級（87kg 級と+87kg 級）	・・・262kg	237kg

※（　　）内の非オリンピック階級出場者の記録も対象となります。

5　選考人数　　男女とも１階級（オリンピック階級及び非オリンピック階級とも）２名以内、計１０名以内。

6　選考内容　①オリンピック階級の基準記録との記録差が少ない選手（１０名以内）を選考します。

・オリンピック階級と非オリンピック階級とも２名以内を選考対象とします。

・記録差が同じ場合は、対象記録を先に出した選手を優先します。

・出場した階級より上の階級で選考する場合の同記録は、対象記録を先に出した選手を優先します。

②選考は下限記録以上とします。

※選手選考についは 12 月の世界選手権大会の世界レベルを見て審議します。

7　そ の 他　①２０２４パリオリンピック出場参加資格は、次の７大会で◎印は必須出場大会、○印は選択できる大会となり、最低５大会出場が必要となります。

（詳細は２０２４パリオリンピック参加枠獲得システムを参照）

○2022（シニア）世界選手権大会：選手選考済み（５月２１日に決定）

○2023（シニア）大陸選手権大会（日本の該当はアジア選手権大会）

○2023　IWF グランプリ　Ⅰ

○2023　IWF グランプリ　Ⅱ

◎2023（シニア）世界選手権大会

○2024（シニア）大陸選手権大会（日本の該当はアジア選手権大会）

◎2024　IWF ワールドカップ

②２０２２．１０．２２時点で IWF 情報を基に選考基準を作成しているため、今後 IWF のパリオリンピック参加枠獲得システム内容に変更があった場合等は、再度審議いたします。

以上